

# No.5 むこスタ News Letter



2019.10.6.sunday

向日市ふるさと創生推進部 企画広報課

## ＜ガイドコース第2回＞ PRポイントを共有したコースづくり！

10月6日(日)に開催したガイドコース第2回目は、3つのチームに分かれ、それぞれの考えるPRポイントを共有しながら、実際に向日市をガイドするコースづくりを行いました。

各チームがコースを市職員も一緒に話し合い作成したあとは、「ガイド5つの心得」、「通常フィールドワークの準備」、「ガイドの7つ道具」など、事前準備に関するテーマについて、講師の森さんからお話をいただきました。



## おすすめスポットを分類・集約し、各チームで発表！

関東から来た人に向日市エリアを30分前後で案内するという条件でコースづくりが始まりました。

まず、それぞれの考えてきた向日市のPRポイントを付箋に書き、マップに貼って集約しました。1人の意見ではなく、チーム全員で考えたコースを作成するように注意しながら、話し合いを進めていきました。

また、各チームのコース内容を全体で共有し、おすすめポイントの情報や実際の移動時間を考慮して、さらに充実したコースを作成しました。他のチームの発表を聞いて新たな発見があったり、アドバイスをしたり、終始活発な雰囲気で行われました。次回は、トライアルツアーとして、実際にこれらのコースを巡ります。観光スポットを案内する際のガイド担当や細かい時間割なども決め、次回の本番に備えました。

## ✓ ガイド5つの心得

食べ歩きを取り入れたい！

ガイドをする上での心得について講師の森さんに教えていただきました。

1. 予定時間を守る(歩行時間イメージ)
2. 安全管理(歩道を歩く、交通量の多い道など)
3. 最後尾のサポート
4. 大きな声で案内する
5. わかりやすい言葉を使う

次回は実際にチーム毎にツアーを試行しますが、自分達の班以外のコースはガイドをされる役になります。このトライアルツアーがあることで、班の議論も活発に行われました。



企画広報課から

ガイドコースを作成するにあたって、講師の森さんは「それぞれが考える観光スポットを集めて、『みんながチェックしているところ』がそのまま『みんなが案内しやすいところ』になる」とおっしゃっていました。ガイドをする側は、その土地の色々な魅力を既に

知っているの、ついつい案内したいところが多くなりがちです。しかし、観光客側にとって、「次はこんなところに行きたい」と思ってもらえるよう、あえて説明に余白を持たせたコースづくりをすることで、リピーターの増加につなげることも重要であると

のことでした。

次回は、今回作った3つのコースを実際にガイドしながら歩いてみることで、ツアー商品化に向けてブラッシュアップします。私たちも「観光客目線」に立った観光を一緒に考えていきたいと思ひます。